



クラブテーマ

ロータリアンとしての意識向上と奉仕の原点回帰
年度創立25周年を迎える体制づくり

例会報告 1011
(2015. 11. 16)

司会：金澤 昇 SAA委員

【開会点鐘】

小林 康久 会長

【ロータリーソング】

『友と行く道』

ソングリーダー：鍋木 孝和 会員



【お客様紹介】

小林 康久 会長

萱津 雅弘 様 (卓話講師/国分寺消防署 署長)
丸崎 様 (宮城仙台北RC)
岩田 敏雄 様 (東京小平RC)

【会長の時間】

小林 康久 会長

本日の卓話は、国分寺消防署長の萱津雅弘署長をお招き致しました。「地域の防災を日夜守り続けている」消防署の職員のご苦労などのお話を聞かせていただく事を楽しみにしております。宜しくお願い致します。



後程紹介者の国分寺少年消防団長の金澤プログラム委員よりご紹介を頂けると思います。

①先日は親クラブさんの創立50周年記念チャリティーゴルフ参加されました方はお疲れ様でした。天気にも恵まれ無事に終わり関係者の方々もホットしていることと思います。ただ前日までの雨で、バンカーの砂が締まり硬く3・4回叩いてやっと出た、…これは私だけです？ スコアに付いてはあまり話題にしないようにお願いします。

②それから皆様の前にチラシが置いてありますが、本年度の大きな事業でもあります、12月14日の公開例会ですが日にちも迫って参りました。Lホールは200人まで収容できるそうです。皆さんのご家族・ご友人に声をかけて頂き出来るだけの人員を招集したくご協力をお願いします。

私も明日多摩中グループ協議会がありますので12クラブにはPRして参ります。

早速行動を開始頂いている、小泉委員長・奥水委員長は御礼申し上げます。

③それから先日もお話ししました、ソウル国際大会ですが現在参加者は6名の登録を頂いております。出

れば10人以上の参加者を予定したく、まだ間に合いますのでお申込みをお願いします。

④来週の月曜23日は少年野球の決勝戦が戸倉球場で9時30分に開催されます是非皆さん参加お願いいたします。

【米山寄付功労賞の授与】

小林康久 会長より
鈴木義明 会員・
瀬野ちどり 会員へ



【幹事報告】

高良 茂 幹事

11月9日(月) 奉仕プログラム情報交換会
11月10日(火) 社会を明るくする運動推進委員会
11月11日(水) 東京国分寺RC創立50周年チャリティーゴルフ大会
11月27日(火) 多摩南グループIM



【委員会報告】

◆出席委員会/出席報告

奥水 香 出席委員長

出席率向上の対策をとります。

会員数43名 免除6名 有効会員数37名
出席者 24名
メイクアップ済 0名
計 24名 出席率65%
前々回75%を80%に訂正



◆青少年奉仕委員会

小泉 市郎 青少年奉仕委員長

公開例会のチラシとポスターが出来ました。
少年野球の決勝戦への参加をお願いします。



◆親睦活動委員会

佐藤 喜義 親睦活動委員長

忘年例会への参加をよろしくおねがいします。



◆クラブ広報・会報委員会

佐藤 喜義 クラブ広報・会報副委員長

ロータリーの友 11月号を配布します。

【ニコニコボックス】

小川 義幸 親睦活動委員

小林 康久 会長・高良 茂 幹事

萱津国分寺消防署長、お忙しい中卓話にお越し頂き有難うございます。日頃市民を防災から守って頂き有難うございます。

尾崎 幸信 会員

ブラジルからの交換留学生、ガブリエルからブラジルの風景画をもらいましたので、ニコニコします。



【卓話】

講師紹介 金澤 昇 プログラム委員



講師 萱津 雅弘 様
(国分寺消防署 署長)



※東京消防庁の活動記録ビデオや資料も交えながら大規模災害発生時の消防隊の活動についてもご紹介いただきました。(以下は広報委員による記録記事)

東京消防庁には特殊災害課があり、常に都内の大規模災害に備えて待機しています。大規模災害時には、広域的な消防の応援制度により東京消防庁からも多くの部隊が派遣されます。東日本大震災の時にも多くの部隊が派遣されました。私は、御嶽山の噴火時には第一次部隊長として災害発生日から現地へ行きました。大きな災害時には県庁に災害対策本部がたち、そこへ緊急消防援助隊という消防隊が全国から被災地へ向かうこととなりますので、その各隊の調整等を行いました。

自衛隊は国の組織、警察は県単位の組織となっていますが、消防は原則として市町村単位で行われています。平成26年4月1日現在、全国には752の消防本部が存在します。昔は1000近くありましたが、完全な市町村単位では効率が悪く、消防装備にもお金もかかってしまうため広域化されているところが増えています。東京消防庁は23区を1つの市とみなし消防を運営していますが、他の町村から受託された消防事務も行っています。通常の火災発生の場合には単独で対応しますが、規模の大きな災害等に備えて隣接する市とは応援協定を結んでいます。応援協定によって大きな事故や火災の場合には隣の市から応援に駆けつけてもらえることになっています。

大きな災害や事故等の場合には、市町村単位の消防隊が都道府県単位でかたまり、全国から応援部隊が被災地へ駆けつけます。これが緊急消防援助隊であり、現在4694隊が登録されています。登録すると市町村が整備するポンプ車や救急車の整備費について国から補助が受けられます。東日本大震災時には被災三県(岩手・宮城・福島)を除く全国から、北海道から沖縄までの部隊が応援に駆けつけました。

御嶽山噴火災害の際にも多くの部隊が応援に駆けつけました。

(以下、活動記録ビデオを見ながら)。

平成26年9月27日午前11時53分、長野県御嶽山で噴火が発生し、都内の各所から東京消防庁の応援部隊がまず談合坂へ集結しましたが、私は直ちに長野県庁へ入っており、県庁の中で災害状況の報告を受けたり、山梨、静岡、愛知からの部隊をどのように配備させるかなどの援助受け入れ準備、指揮をしたりしました。御嶽山噴火災害では噴火翌日から山へ入り、足場の悪い中で生存者の発見、救出活動をしました。噴石等が山小屋に散乱し、各隊員は火山ガス濃度の測定器を持って活動をし、危険な状態になると活動を中止するような形でした。

ビデオ映像でも有毒ガスを吸わないように隊員が防毒マスクを使用している様子や、火山性ガスがかなり漂い警報機が鳴り硫化水素数値が高くなっている様子が分かりますが、この日は私が途中で撤退を命じました。他の県から応援に駆けつけた部隊はテントを張り、そこを活動拠点にし、寝泊まりをしていました。捜索活動は、主に登山道と山小屋、避難小屋とを点と線で結んでそこを重点的に行いました。視界の悪い中で捜索活動を続ける場面もありました。雨の影響は事情に大きく、雨が降ると以後の活動が非常に困難な状況になります。自衛隊員も火山灰に埋まり動けなくなることもありました。目撃者の情報や登山者の情報などをもとに捜索範囲を広げて探し、警察の方では金属探知機を使用した活動も行われていました。天候が悪くなり多くの消防職員も体調不良となりました。

前半は高山病、後半は低体温症になる職員が多く見られ、多数の自衛隊員も体調を崩しました。自衛隊のヘリで山頂まで行くと山頂での活動時間は長く確保されますが一気に山に登るのでヘリで登った隊員の方が高山病になりやすいという困難がありました。万一噴火が起こった場合に備えて警察からジュラルミンを借りての活動も行いました。

遺品が見つかった周囲を念入りに捜索しましたし、急傾斜の現場でも全力で活動に当たりました。東京の職員だけ426名が応援に入りましたが、全国的にはのべ約4200人の職員が現地に派遣されました。

・謝辞

小林 康久 会長



小林 康久 会長

【閉会点鐘】



東京武蔵国分寺ロータリークラブ

会長：小林 康久 幹事：高良 茂

クラブ広報・会報委員会 委員長：村谷 晃司 副委員長：佐藤 喜義 委員：尾崎 幸信 櫻井 健生 鈴木 孝和

例会会場 国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル8F Lサロン飛鳥

事務局 国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル9F

Tel 042-323-3443 Fax 042-323-3459